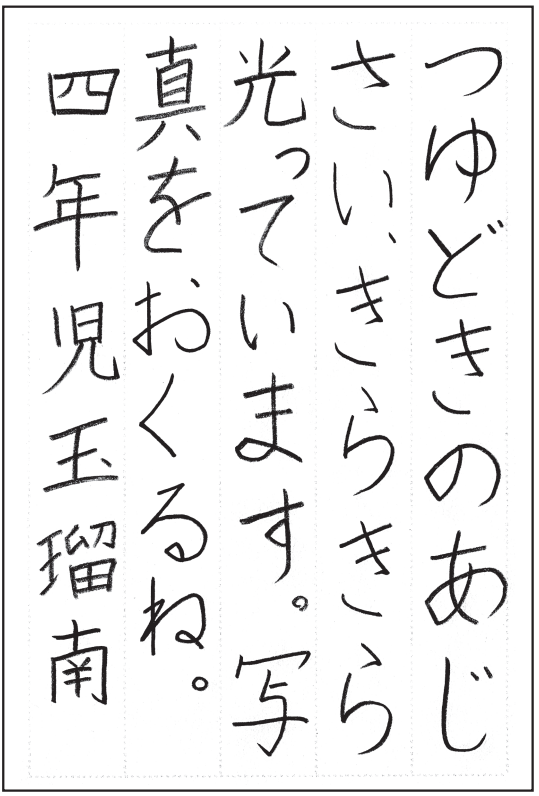
はがきでペン優秀作品

佳作以上に「書作名人筆」さしあげます

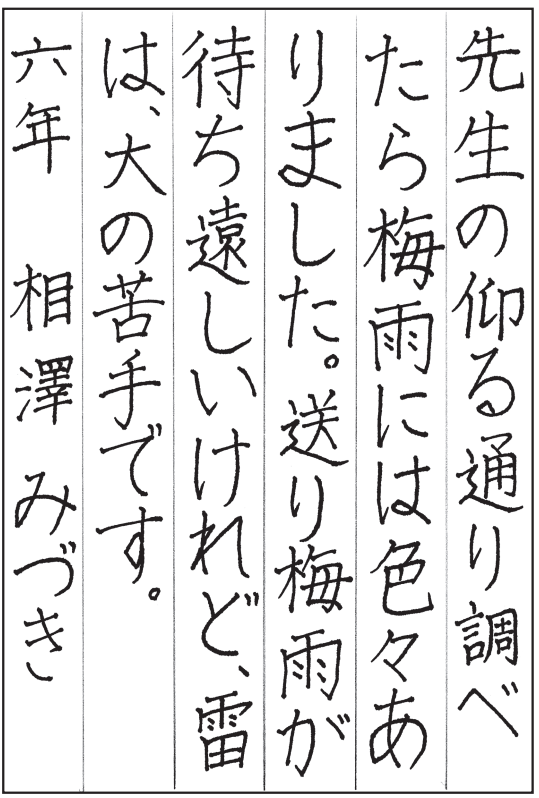
審査担当　金子榮風先生

最優秀作品２点



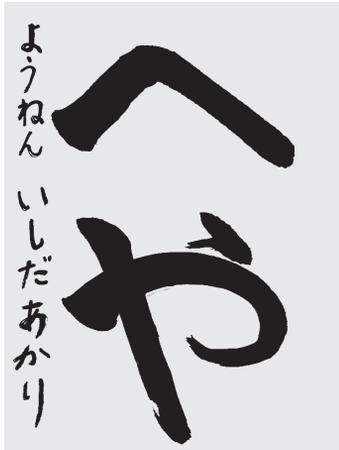
小４　児玉瑠南

良いかまえと大きな動きで書いてりっぱな作。



小６　相澤　みづき

ペンを上手く使って書き特に行が整いきれい。



「へ」と、「や」のさいごのちょくせんがまっすぐかけてとてもきれい。まじめにていねいにじをかくすがたがいいですね。

石田あかり　幼年　5級

正に堂々とした作品。それぞれの線の太さ、長さがよく考えられている。左右のハライも角度が正しいので安定している。

内田そら　小4　2段

リズムに乗り最後まで書き切った。行書を書く上で大切な筆の上下動がとても上手く、文字と作品全体に躍動感を与えた。

戸田海咲音　中2　準5

ふとく力づよいせんで大きなへやができたね。いきおいがありながらもせんのはじまりやおわりをきちんとかけてえらい。

袋心南　小1　6級

名前もふくめて、整った各文字の中に力強さを感じる。線を書く時の構えとうでの動かし方が良く全体を上手くまとめた。

高野結海　小5　3段

良いリズムで書き進める中に繊細な心遣いを感じる。細めの線を上手く使い、文字の中の余白を作ったので全体が美しい。

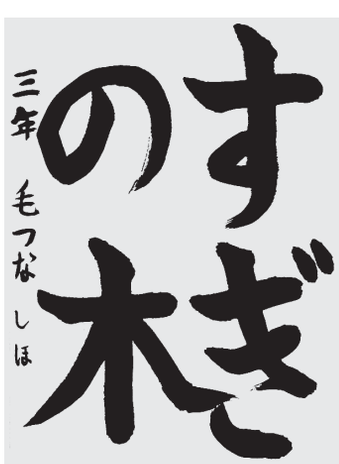
松倉和香　中3　5段

ちょうどよい大きさ、正しいばしょに書けた。りっぱな「山」のすべての線をまよいなく書き、うつくしい作品となった。

清水結愛　小2　8級

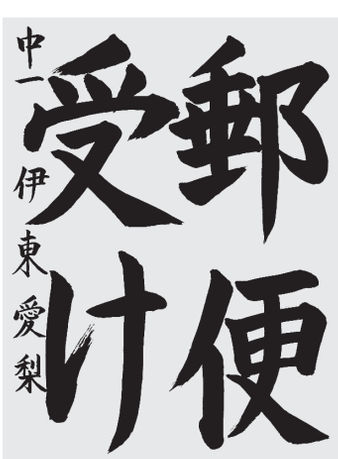
全体を細めの線で書き余白がきれい。要所で出る太い線が効果的。字の形が美しく、書いている時の良いリズムが伝わる。

宮崎くるみ　小6　2段



ひらがなの中でむずかしい字の「す・ぎ・の」を上手くまとめて形が良い。「木」もとくに左右のハライがのびやかに書けた。

毛綱梓帆　小3　2級



難課題をここまで隙の無い作品に仕上げたことに驚き、感心した。線の長さや場所等を全て正しく書きながら勢いも良い。

伊東愛梨　中1　4段

六月十五日締め切り
最優秀作品
金子高遠選評